

第17回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議
議事概要

日時：令和3年4月9日（金）19時～21時30分

場所：沖縄県庁 6階第2特別会議室

議題1 県内の感染状況について

ア 感染状況について、事務局から説明。

議題2 今後の感染症対策の提言について

ア 沖縄県における疫学状況及び提言案について、委員から説明。

- ・ 陽性者数、宮城は減っているが、大阪と沖縄はお互い競っているかのように増えている。沖縄の増加要因は自然増及び変異株、両方の要因があると思う。
- ・ N501Y変異株について、本日24例の報告あり。北部に集中している。全国と比べると沖縄は小児は多くない。規模の大きなクラスターも存在しない。死亡例及び、院内感染も出ていない。ただ、今後急速に広がっていくことも視野に入れる必要がある。北部については1段高めの対策が必要。歓楽街に対しても対応を取らないと広がる。
- ・ 今回の提言案は、こういった対策を強力に推進すべきか県に提言するという趣旨で作成している。

内容としては、

- ① 同居家族以外との会食やカラオケを控える。
- ② 飲食店等については、営業時間を20時までとする。
- ③ 人が集まる場所に行くときは、マスク着用、手指消毒する。
- ④ 県外との不要不急の往来はできる限り自粛または延期をお願いする。どうしても渡航せざるを得ない場合は事前にPCR検査を受ける。
- ⑤ 離島との不要不急の往来はできる限り自粛または延期をお願いする。
- ⑥ 高齢者と同居していたり、ケアに関わる方々は、特に感染予防を心がける。

(意見交換)

- ・ 渡航自粛がないと感染者は減らない。
- ・ 渡航自粛について、我々がお願いできるのは、沖縄県民だけである。他県の県民への渡航自粛の呼びかけについては慎重であるべきだ。
- ・ 渡航前の検査を呼びかけるべきだ。
- ・ 他県の県民については、「沖縄で流行しているから気をつけて」としか言えないのでは。
- ・ 「沖縄が危ない」ではなく、「他の地域から持ち込まない」という意味だ。
- ・ 提言に「渡航禁止」を入れるべき。「なぜ、沖縄県民だけが」となる。
- ・ 純粹に言えば「渡航自粛」。「ワクチン打つまでの間、猶予をください」という事である。

- ・ 観光業界含めて危機感薄い。N501変異株については、「観光うんぬん」（で語られる問題）ではない。
- ・ 「会食を止める」は、かなり強い内容であり、厳しい。
- ・ 提言は緊急事態宣言にさせない（為のもの）という書き方にすべきでは。
- ・ 提言案については、異なる意見も一部あるが、専門家会議全体としてコンセンサスはとれたものとして、県に提言することとする。

報告1 変異株について

- ア
- ・ 変異株検査数について、事務局から説明
 - ・ 県衛生環境研究所で今週83件の検査を行い、うち20件が変異株N501Yの陽性であったことが判明し、マスコミに年齢・性別を公表した。
 - ・ 20件のうち、15件は北部保健所管内となっている。
 - ・ 更に民間検査機関で今週検査した12件のうち、4件について変異株N501Yの陽性であったことが判明した。

(意見交換)

- ・ 変異株の状況についてはびっくりしている。N501Y変異株は感染しやすい。
- ・ 4月8日付け厚労省事務連絡で病床等について変異株は従来株と同様に扱ってよいとある。県全体でその方針でいかないと病床が厳しい。
- ・ (変異株含めた) 事例を出して、提言案につなげていくべきではないか。
- ・ 変異株は外からやって来るもの。ゲートコントロールをどうするかが課題。

報告2 疫学調査について

- ア
- ・ 那覇市の疫学調査について、委員から説明。
 - ・ 那覇市保健所では、感染者急増に伴い、積極的疫学調査体制を見直す。
(4月9日～来週末までの見込み)。具体的には、医療機関・高齢者施設・クラスター発生事業所以外の職場調査をコールセンターへ引き継ぐ。変異株感染者については判明次第、早急に調査を行う。

(意見交換)

- ・ 各保健所がやっている業務を一時的に医療機関が引き受けるという認識となるのか。
- ・ 那覇市保健所としては、県コールセンターを案内することとしている。コールセンターからは検査協力機関であるクリニックを案内する。

報告3 高齢者施設の重点的調査について

- ア
- ・ まん延防止等重点措置区域における高齢者施設等への重点的検査について、事務局から厚労省事務連絡の内容説明。
 - ・ 措置区域内における高齢者施設等の従業者等に対する検査の頻回実施を行う必要がある。
 - ・ 対象施設や検査の頻度について、意見を頂きたい。

(意見交換)

- ・ 急速に陽性者が増加している地域は1週間に1回の頻度も検討してよいのではないかと。また、1回陽性が出た施設は1週間後に再度行うなど柔軟に対応してよいのではないかと。
- ・ 高齢者施設以外にも精神科病院や透析クリニック等も対象にすべき。
- ・ 精神科病院や透析クリニックは、その都度PCR検査をする余力がないため、定期スクリーニングではなく、無料で抗原検査キットを配り、熱がでたらすぐ検査する態勢をつくるとした方が大きなクラスターを防げる。

その他

- ・ 感染を押さえ込むことによって、沖縄経済の復活が早いということを分析できるような研究が必要。
- ・ 金融機関の調査部のような地方の経済に精通している方々であれば研究できるのではないかと。
- ・ 専門家会議でワクチン接種のアピールをすべきではないかと。
- ・ ワクチン接種のアピールについては、専門家会議メンバーで意見のやり取りをしながらまとめていく。